

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2014-209998(P2014-209998A)

【公開日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-062

【出願番号】特願2013-86993(P2013-86993)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月25日(2015.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機における目的位置と収納位置との間で移動可能に配置される複数の可動体と、一つの駆動源と、

前記複数の可動体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動体それについて定められた移動タイミングである第1のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動体それについて定められた移動タイミングである第2のタイミングとを異なるように、前記駆動源からの動力を各前記可動体に伝達する動力伝達手段と、

を有すること、

を特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記動力伝達手段は、

外周面を備え、さらに、前記外周面に設けられ、周方向の位置を同じにした複数の第1カム部と、周方向の位置を互いに異ならせた複数の第2カム部とを備えたドラムを有し、前記ドラムを正回転させたとき、各前記第1カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第1のタイミングを生成し、各前記第2カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第2のタイミングを生成するように構成されること、

を特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記複数の可動体により構成される可動集合体を複数有し、

前記動力伝達手段は、複数の前記可動集合体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それについて定められた移動タイミングである第3のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動集合体それについて定められた移動タイミングである第4のタイミングとを異なるように、前記駆動源からの動力を各前記可動集合体に伝達し、

前記第3のタイミングにおいて、各前記可動集合体の各前記可動体は前記第1のタイミングでそれぞれ移動し、あるいは前記第4のタイミングにおいて、各前記可動体は前記第2のタイミングでそれぞれ移動すること、

を特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記動力伝達手段は、

前記可動集合体の数に対応する複数の前記ドラムを有し、

各前記ドラムを正回転させたとき、各前記ドラムに設けられた各前記第1カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第3のタイミングを生成し、各前記ドラムに設けられた各前記第2カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第4のタイミングを生成するように構成されること、

を特徴とする請求項3に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記動力伝達手段は、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記第1カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第5のタイミングとして間隔をおかず、各前記ドラムを逆回転させたとき、各前記第2カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第6のタイミングとして間隔をおくように構成されること、

を特徴とする請求項4に記載の遊技機。

【請求項 6】

複数の前記可動集合体は、略上下方向に配置され、

前記動力伝達手段は、前記第6のタイミングとして、上段側の前記可動集合体を下段側の前記可動集合体よりも優先的に移動させるように構成されること、

を特徴とする請求項5に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

かかる目的を達成するための本発明の請求項1に記載の遊技機は、遊技機における目的位置と収納位置との間で移動可能に配置される複数の可動体と、一つの駆動源と、複数の前記可動体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第1のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第2のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動体に伝達する動力伝達手段と、を有すること、を特徴とする。

請求項2に記載の遊技機は、請求項1に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、外周面を備え、さらに、前記外周面に設けられ、周方向の位置と同じにした複数の第1カム部と、周方向の位置を互いに異ならせた複数の第2カム部とを備えたドラムを有し、前記ドラムを正回転させたとき、各前記第1カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第1のタイミングを生成し、各前記第2カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第2のタイミングを生成するように構成されること、を特徴とする。

請求項3に記載の遊技機は、請求項1または請求項2に記載の遊技機であって、前記複数の可動体により構成される可動集合体を複数有し、前記動力伝達手段は、複数の前記可動集合体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第3のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第4のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動集合体に伝達し、前記第3のタイミングにおいて、各前記可動集合体の各前記可動体は、前記第1のタイミングでそれぞれ移動し、あるいは前記第4のタイミングにおいて、各前記可動体は前記第2のタイミングでそれぞれ移動すること、を特徴とする。

請求項 4 に記載の遊技機は、請求項 3 に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、前記可動集合体の数に対応する複数の前記ドラムを有し、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記ドラムに設けられた各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 3 のタイミングを生成し、各前記ドラムに設けられた各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 4 のタイミングを生成するように構成されること、を特徴とする。

請求項 5 に記載の遊技機は、請求項 4 に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 5 のタイミングとして間隔をおかず、各前記ドラムを逆回転させたとき、各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 6 のタイミングとして間隔をおくように構成されること、を特徴とする。

請求項 6 に記載の遊技機は、請求項 5 に記載の遊技機であって、複数の前記可動集合体は、略上下方向に配置され、前記動力伝達手段は、前記第 6 のタイミングとして、上段側の前記可動集合体を下段側の前記可動集合体よりも優先的に移動させるように構成されること、を特徴とする。